

# 県立辻堂海浜公園

## 平成23年度事業報告書



事業計画書の内容		実施計画					平成23年度の実施状況	今後の取り組み予定	備考
区分	提案項目 提案の具体化方針 (事業計画に記載されている内容を簡潔にまとめて記入)	H21	H22	H23	H24	H25			
1 施設の設定目的を踏まえた総合的な管理運営方針									
誰もが主役となって、笑顔と幸せになれる公園づくり (湘南ハートフルパーク)	<p>◎誰もが主役になれる公園づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○地域や県民との協働、連携による公園づくり</li> <li>○地域活動やコミュニティ形成の場となる機会の増</li> <li>○企画段階から県民や地域が関われる公園まつりの仕組みづくり</li> <li>○芝生広場を活用した市民の発表できる場づくり</li> </ul>	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	実施予定	実施予定	<ul style="list-style-type: none"> <li>●イベントや体験プログラムは、地域団体等と連携協働して企画段階からアイデアを出し合い開催。なお、大震災での被災地への配慮や節電対策等で春の公園まつりなど一部のイベントを自粛した。</li> <li>●地域団体等からの持込イベントの相談提案については、今年は特に東日本大震災で被災した東北支援を目的とした相談が多くあり、公園特性や公益性等の視点から、ふさわしい案件については企画段階から積極的に支援開催し地域貢献に協力した。                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・「海空フェスティバル」→共催して春と秋の2回開催。</li> <li>・「Run for Peace」イベントの開催</li> <li>・「東北支援大物産展」(相手の都合で企画途中で中止)</li> </ul> </li> <li>●芝生広場ステージ(木下ヶ)はイベント時に地域団体の発表の場として活用中。また、今年から地域包括支援センター事業に協力し、毎週1回自由参加型の公園体操の場として利用。使用しない期間は、野外卓を置き体憩施設として活用を図っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●今後も維持管理やイベント等の利用促進事業を通じて地域と連携協働した取り組みを行い、市民参加型の公園づくりを推進していく。</li> </ul>	
	<p>◎人に優しく笑顔になれる公園づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ユニバーサルカヌーを拡充し、より多くの県民の利用と参加を図る</li> <li>○障害の有無に関わらず公園を利用し、参加できるプログラムの充実</li> <li>○ユニバーサルな公園として広く県民に発信</li> <li>○海を利用するサーファーに優しいサービスの提供</li> </ul>	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	実施予定	実施予定	<ul style="list-style-type: none"> <li>●春季と秋季の毎週日曜日に開催しているユニバーサルカヌー体験会は、19年度開始以降、延べ7万8千名を超える利用となった。年々、障害者家族の参加も増え、延べ6百人近い障害者が体験し公園での障害者家族間の交流が図られてきている。</li> <li>●JR東日本労働大宮地場増員旅のプレゼン実行委員会が、障害者家族を招待する「列車の旅で辻堂海浜公園を楽しもう」の持込企画を支援し開催。障害者家族10組とサポーター等370人が公園を利用。</li> <li>●東駐車場横に完成した温水シャワー施設の管理運営を8月から開始。サーファーなど海の利用者が主な利用者となっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●引き続き、協力団体等の開拓を図り障害者や高齢者も気軽に利用できる機会づくりを検討する。また、障害者や高齢者を対象とした持込み企画の相談があった場合は、可能な限り支援協力していく</li> <li>●ユニバーサルカヌーのできる公園を目指すためには、今後、運営をサポートするボランティアの協力が不可欠であるため、湘南工科大学等と協働してサポーターの拡充を図る。</li> </ul>	
	<p>◎誰もが楽しく快適な公園づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○快適に利用できる芝生広場の提供と花のあふれる公園づくり</li> <li>○施設の維持管理、安全管理の徹底</li> <li>○利用者の視点に立った安全度と満足度の高いプールや交通公園等の管理運営</li> </ul>	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	実施予定	実施予定	<ul style="list-style-type: none"> <li>●利用促進の一環として草花による修景づくりを継続中。21年度から整頓に着手した「水仙ガーデン」はエリアは23年度末まで5区画54品種、観賞用4品種 計5万2千株となった。県内で多品種の次イセンを鑑賞できる公園は本公園だけと言えるまでに増えた。</li> <li>●老朽化施設については、県土木と連携して補修修繕を進めた結果、事故改善が図られてきた。今年度も施設不具合による重大事故はなし。</li> <li>●交通展示館の体験施設が老朽化しており、メインのスーパーライダーが修理不能となり運転を中止。</li> <li>●東日本大震災による大津波の被害はなかったが、今後、津波警報発令に備え、園内主要箇所には避難表示、公園周辺の緊急避難場所(学校、団地等)表示を行うとともに、辻堂地区防災訓練への参加、避難誘導マニュアルを作成。</li> <li>●毎朝のゴミ清掃のほか、草刈、芝刈等の植物管理は県基準以上に実施。快適で美しい公園景観の提供に努めた。</li> <li>●芝生広場内に得勢的メリケンキンソウが繁殖、藓があるため、利用者の安全確保の点から、県と協働して除去対策(芝張り替え)を実施中</li> <li>●県土木で策定中の「リフレッシュ計画」に反映して貰うため、指定管理者の立場からも施設の改善、不具合箇所の具体的改善提案を行った。</li> <li>●昨年度のプール利用料金の改訂に引き続き、今年度は駐車場利用回数券を販売し利用者サービスに努めた。</li> <li>●ジャンボプールは、夏期の節電対策のため開場期間は短縮したが、期間中、フーターバルーンやドクターフィッシュ体験、アロタイベントを実施し、プールの利用促進と満足度の向上に努めた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●再整備後20年が経過し施設老朽化が進行しているため、県において策定中の「リフレッシュ計画」の改修開始迄の間、既存施設の不具合箇所の早期発見に努めるとともに県土木とも連携して必要な補修修繕を図っていく。</li> <li>●スーパーライダー以外の展示施設についても老朽化が進んでおり、交通展示館の管理運営に支援をきたす為、今後の大きな課題である。</li> <li>●県の浸水域の改訂に伴い、遊覧誘導先、方法等も変わるため、マニュアルを見直す。また、迅速な対応ができるよう、職員の新規訓練を行うしていく</li> <li>●水仙ガーデン整備は23年度で一応終了とし、維持管理に重点を置くとともに広報の力を入れ認知度をアップを図っていく。</li> <li>●植物管理は、引き続き、造園専門学校と藤沢市緑化緑化事業組合の3者で協働して効率的効果的に植物による景観向上を図っていく</li> <li>●メリケンキンソウは他県でも対策に苦慮している外来種で、今後、全国に拡散していく恐れがある植物である。芝生地に繁殖するため農業使用が困難であること、また得勢的に繁殖することから駆除が追い付かない状況にある。対策としては基本的に今後も芝生の繁殖を主体に行わざるを得ないが、経費的制約もあるため、並行して農業を使用しない駆除方法を検討し試行していく。</li> <li>●プールについては、施設設備の老朽化と防犯対策が大きな課題であるため、施設改修や防犯の面で県と連携し対策を講じ、満足度を高めていく</li> </ul>	
利用者の平等な利用の確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>○利用受付案内、苦情、意見、要望等に対する親切丁寧な対応</li> <li>○職員研修による意識向上等</li> </ul>	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	実施予定	実施予定	<ul style="list-style-type: none"> <li>●来園者対応について、新規採用者研修のほか園長、副園長を対象とした接客リーダー研修を実施し、接客の向上に取り組んでいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●今後も日々の指導、研修等を通じ、親切丁寧な対応に努めていく</li> </ul>	
利用者や地域住民等に配慮した管理運営	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎県民や地域住民等の意見を反映した管理運営</li> <li>○ご意見箱、WEB投稿、アンケート等の活用</li> <li>○公園連絡協議会を設置し意見要望提案等を業務改善に反映</li> <li>○地域の意見要望は、自治会・町内会との連携の中で掌握</li> </ul>	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	実施予定	実施予定	<ul style="list-style-type: none"> <li>●常設アンケート箱や公園HPでのメール投稿など、苦情要望の問合わせができる体制としている。</li> <li>●町内会連合会や市民センター、商工会議所、大学、地域団体等で構成する公園運営協議会において、県の進めている「リフレッシュ計画」案について県から説明を聞き、意見交換を行った。</li> <li>●市民連合会との協力により、毎年開催される地域の自治会連合会総会において、公園の年間事業計画等を説明する機会を得ており、その中で、自治会長からの意見要望を把握している。</li> <li>●地元自治会等からのすこやか広場への時計設置の要望を受け、公園から県土木に設置を要請し実現した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●引き続き、管理運営に関する利用者の声は、アンケートやwebサイト、日頃のコミュニケーション、を通じて把握し、より良い管理運営に努める。</li> <li>●公園北側の外周松林の樹高を一律低くする要望は指定管理者のみでは不可能なため、県の「リフレッシュ計画」の中で県との役割分担し取り組む方向である。</li> <li>●公園運営協議会については、これまで利用促進イベントを中心とした活動であったが、今後はそのほかの管理運営においても意見交換にも重点を置き公園管理に反映としていく</li> </ul>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎利用者や地域に信頼される管理運営</li> <li>○平等利用、利用者の声を大切に管理運営</li> <li>○トイレなどの清掃や道具の確実な点検</li> <li>○地域連携による管理運営やイベント等の開催を通じ地域に信頼され愛される公園を目指す</li> </ul>	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	実施予定	実施予定	<ul style="list-style-type: none"> <li>●日々の管理での来園者とのコミュニケーションや接客時での要望、アンケート結果等の利用者の声はスタッフに情報提供し、ニーズの把握と管理意識の向上に取り組んでいる。</li> <li>●老朽化した施設工作物の点検に重点を置き、不具合を発見した場合は速やかに点検を直し、事故の未然防止に努めた。特にトイレの道具については部材の交換、補修、撤去に努め、安全に気を配った。</li> <li>●台風や強風後は公園外周の市道に松葉がたまり、道路排水や歩行者の安全性の点から道路上の松葉の清掃除去を実施し地域道路の環境維持に努めた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●これからも地域の方々の協力を得ながら、来園者が安全で快適に楽しめる公園を目指し、管理運営に努めていく</li> </ul>	

補足資料



事業計画書の内容		実施計画					平成23年度の実施状況	今後の取り組み予定	備 考	
区分	提案項目 提案の具体化方策 (事業計画に記載されている内容を簡潔にまとめて記入)	H21	H22	H23	H24	H25				
3 本公園における特性和課題を踏まえた維持管理の考え方										
快適な利用環境と公園景観づくり	公園美観の向上、利用形態に対応した管理	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	実施予定	実施予定	●綺麗な公園は来園するきっかけの1つであることから、引き続き、県の管理水準以上に植物管理を行い、通年を通して公園の美観維持に努めた。 ●芝生地で発見した外来種メリケンソウは、爆発的な繁殖力を持ち、かつトゲを持つため除去しているが、除去が遅い付かず、安全な利用環境を提供するうえで課題の1つとなっている。現在、土木と連携して芝の張替えを実施し駆除に取り組み中。 ●公園西口の雑樹帯に鳥により運ばれ成長したと思われるドクウツギが発見された。実は猛毒であるため即、伐木撤去し、来園者の安全確保に努めた。	●清潔で美しい公園を目指し、引き続き、花や緑による景観づくりを推進し快適な利用環境の提供と利用促進に努める		
	花による魅力づくり	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	実施予定	実施予定	●花による魅力づくりの今年度の取り組み ・水仙ガーデンエリアの拡大と品種を増：平成23年度時点で水仙54品種、ムスカリ4品種、合計5万2千球（平成21年度2万9千球、平成22年度4万1千球） ●神奈川県シルバー人材センター主催の「緑樹講習会」の花壇実習場所として北口園路沿いの花壇を提供 ●交通公園サイクリングコース沿いの植栽帯など草花による景観を充実 ●庭外トイレは定期的清掃のほか、パトロール時に汚れを発見した場合やイベント時は臨時に清掃を実施。また悪戯によるトイレ破壊、便器詰まりには即対応し、清潔なトイレ提供に努めている。また、トイレトペーパーの補充には毎日注意して管理 ●交通公園及び展示館内トイレは朝・夕2回の清掃を毎日実施し快適な環境に努めている。 ●犬の糞については夜間の犬の散歩者が放置することが多いため、毎朝のゴミ拾いの際、除去。			
快適な利用環境と公園景観づくり	清潔な施設・空間の提供	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	実施予定	実施予定	●庭外トイレは定期的清掃のほか、パトロール時に汚れを発見した場合やイベント時は臨時に清掃を実施。また悪戯によるトイレ破壊、便器詰まりには即対応し、清潔なトイレ提供に努めている。また、トイレトペーパーの補充には毎日注意して管理 ●交通公園及び展示館内トイレは朝・夕2回の清掃を毎日実施し快適な環境に努めている。 ●犬の糞については夜間の犬の散歩者が放置することが多いため、毎朝のゴミ拾いの際、除去。	●清潔で美しい公園づくりを基本に、引き続き、花や緑による景観づくりを推進し快適な利用環境の提供と利用促進に努める		
多様な施設の機能維持と安全管理	施設、設備の安全確保	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	実施予定	実施予定	●遊具は毎朝のゴミ拾い兼パトロール時に状態を確認。特に砂場は、毎朝、危険物やゴミを除去後、レーキをかけ不陸整正を実施 ●遊具定期点検の結果、不具合のある遊具は使用中止措置を講じ、県と協議して修繕又は撤去を行い安全確保に努めた。 ●年1回（6/3）、本部職員と事務所職員の間により全施設の一斉点検を実施。点検結果は事務所対応箇所と県への改善要望箇所に分類して取りまとめ、県に報告するとともに改善要望を行い、双方協力して施設安全を図っている。 ●自らのパトロール時に発見した施設への悪質な悪戯、落書きは迅速に対応し、清潔な環境を維持している。 ●交通展示館のメイン施設であるスーパライダーが老朽化のため、修理不可能となり、県と協議し運用を停止した	●今後とも日常巡視や定期点検、年1回の合同点検パトロール、災害後の緊急点検等を通じ、施設設備の状況を把握し、不具合等が発見した場合は、応急措置を講じるとともに県土木と協議し改善を図っていく。 ●交通展示館についてはスーパライダー以外の体験施設も老朽化が進み、使用中止も時間の問題で、今後の運営に大きな支障をきたすことから、県に今後の展示館のあり方、見直しを要望中		
	水辺空間の安全確保	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	実施予定	実施予定	●サザン池の水面水中の危険物、浮遊ゴミは毎朝の清掃巡視時に除去 ●自然池護岸石については、裏込め部の陥没が見受けられるため、日頃から注意し、陥没箇所の土砂充填を行い、事故の未然防止を図っている。また、自然池内の繁殖力の旺盛な外来種の蘆は発見したら除去している。 ●交通公園内の人工池及び花の底池は給排水設備が機能不全のため蘆の繁殖が旺盛。その都度除去しているが、水質維持が困難な状況である。	●交通公園池及び花の底池の給排水設備は技術的改修が必要なため、池自体の必要性も含め見直しよう要望中		
	乗物の安全管理	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	実施予定	実施予定	●交通公園の貸出自転車のうち、年数の経過した自転車を更新（県） ●サイクリングコースは始業前に安全点検を実施。貸出自転車は始業前点検と利用者から回収する際に状態を確認している ●自転車及びゴーカート・ファミリー自転車の保守点検を専門業者に委託し実施。 ●スカイサイクルは始業前に試乗し状態を確認。また定期及び法定点検を実施。また、これらの点検のほか、3年に一度、車輛のオーバーホールを行うことが義務付けられており、今年度は12月（7台）と2月（8台）の2回に分けてオーバーホール（県）を行った。	●今後とも県と協議しながら計画的に貸出自転車の更新を行うとともに乗物の点検を行い、利用者の安全を確保していく		
海浜環境の保全	松の保全	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	実施予定	実施予定	●昨年度に引き続き、日本ガーデンデザイン専門学校、藤沢市緑化事業組合と直営作業班の3者コラボ体制で、役割分担を決め、仕立て松、松林を主体に、みどり摘み、剪定を行い美観維持に努めた ●秋の台風15号による倒木、枯木、枝折れのほか、大量の松葉が園内に散乱。土木事務所と連携し、迅速な復旧を行うとともに、園路沿いや外周市道の松葉や落下危険枝の除去を行い安全確保に努めた。	●引き続き、貴重植物（ハマカキラン）の生育する松林については、生育に影響のない時期に林内の除去を実施するとともに枯損木の整理を行い、松林や単独松の美観向上を図っていく。 ●公園北側に隣接する団地から要望されている松林の高さを低くする要望に対しては、土木と協議し対処している。		
	しょうなんの森の樹林育成	一部実施	一部実施	一部実施	実施予定	実施予定	●しょうなんの森周辺の松林に繁殖するクズはあらかじめ除去。 ●しょうなんの森の枯損樹木等の整理を実施	●クズについてはあらかじめ除去が完了したが、今後、発見次第除去に努める。 ●しょうなんの森の松林は飛砂や塩害の影響を受けやすいため、樹木管理は、様子を見つつ徐々に進めていく。		
	海浜植物の保全育成	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	実施予定	実施予定	●引き続き、海浜植物の保護育成活動している「湘南みちくさクラブ」と協働しハマボウフウを公園苗圃で育成中 ●ハマボウフウの種子が地域の西から提供された ●「神奈川県植物誌調査会茨城グループ」のモニタリングに立ち会い、ハマカキランの生育エリアの変化を把握するとともに、生息区域はロープで立ち入り禁止としている。 ●生育箇所については作業スタッフに周知し、生育に影響のない樹に草刈を実施。	●みちくさクラブの活動を支援し、ハマボウフウなどの海浜植物を園内苗圃で育成し、海浜地への移植還元活動を継続する。		
	貴重植物の保護	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	実施予定	実施予定	●引き続き、海浜植物の保護育成活動している「湘南みちくさクラブ」と協働しハマボウフウを公園苗圃で育成中 ●ハマボウフウの種子が地域の西から提供された ●「神奈川県植物誌調査会茨城グループ」のモニタリングに立ち会い、ハマカキランの生育エリアの変化を把握するとともに、生息区域はロープで立ち入り禁止としている。 ●生育箇所については作業スタッフに周知し、生育に影響のない樹に草刈を実施。	●今後とも植物調査会藤沢グループと密接な連絡をとりハマカキランの生育状況を把握するとともに、作業スタッフ共有情報とし草刈作業は、生育に影響のない時期に実施する		

補足資料

区分	提案項目	提案の具体化方策 (事業計画に記載されている内容を簡潔にまとめて記入)	実施計画					平成23年度の実施状況	今後の取り組み予定	備 考
			H21	H22	H23	H24	H25			
	効率的、効果的な維持管理	効率的・効果的な取組み ①委託業務の集約発注による経費削減 ②繁忙期や閑散期に対応した柔軟な人員配置 ③リース機器や物品購入の集約発注等	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	実施予定	実施予定	●植物管理は、昨年開始した日本ガーデンデザイン専門学校、横浜市緑区事業組合と3者それぞれの特長を活かしたコラボ体制で今年度も実施。緑の美観向上と経費の節減、作業スタッフの技術スキル向上にも繋がっている ●グランド管理は、不陸整正作業の機械化、大口径の散水機購入により、作業時間の短縮を図った。 ●費用対効果と公園の持つ特徴の視点から、従来の体験プログラムの見直しを行い、クラフト教室の夏場の休止、クリスマスリース作り体験、ミニ門松づくりは取り止めとした。 ●花壇用草花については、播種による植付を増やし経費節減に努めた。(夏花壇のヒマワリ)情報共有化に限界があることから、当日の勤務での出来事、伝達事項等をパソコンを活用した業務連絡表に記載し、翌日の出勤者が確認しチェックする方式と様々な管理運営情報の迅速な伝達ができるようにした。 ●トイレトペーパー、石灰、コピー用紙等の本部集約発注を行い、経費節減に努めた。	●維持管理作業の機械化を進め、作業時間の短縮を図って他の管理業務への振り当て時間を増やしていく。 ●今後も遠隔知識を有する専門学校及び緑化事業組合と3者協働し、役割分担の元に植物管理を行い、効率的効果的な業務の遂行とコスト削減を図る。	
	管理マニュアル整備による取り組み	①管理マニュアルの作成、確認と検証を行い改善に向けた取組みを通して管理水準を向上 ②管理点検結果は、公園管理データベースシステムを用い管理情報の共有化と履歴の分析に基づいた維持管理計画の策定や計画的な点検を実施	一部実施	一部実施	一部実施	実施予定	実施予定	●作業スタッフ用の体系的な現場用手引き作成と、効果的な作業計画としていくため今年度は植物管理に係る県管理基準(植物管理)設置の検証を行った。	●現場用の管理手引きの整備とより効率的な維持管理に向け、引き続き管理運営データの蓄積を進める	
<b>6 執行体制の内容</b>										
	本部と現地の役割分担	本部に統括管理部門を、現地に公園管理事務所を置き、方針決定や総務、会計及び業務執行並びに県や関係機関等との重要事項は、現地と本部が連携して行う	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	実施予定	実施予定	●公園管理事務所と協会本部が連携を図り、日常の連絡調整や毎月1回の園長会議や課題調整会議等により、適切な管理運営を実施。 ●本部担当職員が定期的に公園で打合せを実施し、課題がある場合は本部に持ち帰り調整している。	●引き続き、協会の「公園管理PDCAシステム」や外部評価委員、外部特別指導員(グリーンサポート)による業務点検、指導など、本部と調整を図りながらコスト削減やサービス向上に努め、効果的効果的な管理運営を遂行していく。	補足資料
	現地の職員配置	2公園の統括責任者の園長のもと、パートナーのオーチャースタッフを含むスタッフが一体となって業務遂行	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	実施予定	実施予定	●2公園の統括責任者としての園長のもと、パートナー企業を含むスタッフが一体となって管理運営業務を遂行中。なお、プール期間中は、パートナー企業の職員を増員して対応。 ●プールイベントについては、パートナーのオーチャースタッフと、地元企業とも協賛し実施した。	●園長を統括責任者とし、パートナー企業も含むスタッフ体制により組織の円滑な推進を図っていく。	
	業務の一部委託	事業計画書の「委託業務予定一覧表」に基づき、スタッフの安全面や効率性、効率性の観点から一部業務の外部委託を実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	実施予定	実施予定	●植物管理業務の一部や専門性を有する施設点検業務を外部委託により実施(別紙委託業務実績一覧表(基本協定様式2参照))	●外部委託は当協会規程に基づき、業者選定、チェック、指導監督を適切に行い、業務実施を行う。	委託業務実績一覧表
<b>6 緊急時の体制</b>										
	事故発生等、緊急時の対応	人命を第一優先とした迅速な行動	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	実施予定	実施予定	●園内で怪我人や病人を発見又は通報を受けた事例については、即、現地に駆けつけ、応急措置と2次被害防止措置を講じるとともに、状況に応じて救急車を要請した。 ●緊急時に速やかに対応できるよう、新規職員については救急救命講習会に参加させ、資格を取得させている。 ●本部及び公園事務所において、事件、事故、災害の履歴はファイルメーカーソフトにより作成し履歴を管理 ●本部に集積された各公園の履歴は、本部から各公園に情報提供を行い、事故の未然防止を図っている	●今後も、救急救命研修等を通して、スタッフの救急能力を高め、緊急時の迅速な対応を図る	
		事件事故等の履歴管理	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	実施予定	実施予定	●本部及び公園事務所において、事件、事故、災害の履歴はファイルメーカーソフトにより作成し履歴を管理 ●本部に集積された各公園の履歴は、本部から各公園に情報提供を行い、事故の未然防止を図っている	●ファイルメーカーソフトで履歴管理し、協会として情報の共有を推進する	
		・大雨、暴風等災害が予想される場合は、公園協会災害対策指針に基づいた警戒配備 ・大雨、暴風等災害が発生した場合は、現場へ急行し、被害者救援、二時災害防止措置などの作業を実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	実施予定	実施予定	●台風、集中豪雨などが想定される場合は、災害対策指針に基づく配備態勢をとり、対応した。 ●9月の台風15号により、一部施設が破損、倒木、枝折れ、大量の松葉が外周市道に堆積するため、地域に配慮し職員で市道清掃を実施 ●これ以外の気象災害による被害発生は無し。なお、強風後は松葉が外周市道に堆積するため、地域に配慮し職員で市道清掃を実施	●今後も気象災害、大地震に備えたスタッフ体制、緊急連絡体制を維持し、適切に対応していく ●東日本大震災後、県の津波浸水区域の見直しが行われたが、これを受け市町村は地区防災計画を改訂中。改訂内容をともに公園からの避難誘導マニュアルの見直しを行って行く	
		大地震が発生した場合は、公園協会災害対策指針に基づき関係各所の指示のもと、災害対策活動を実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	実施予定	実施予定	●東日本大震災での津波被害はなかったが、これを受け、公園からの避難誘導マニュアル(案)を作成。また、辻堂地区総合防災訓練に公園職員も参加 ●大地震発生時のスカイサイクル搭乗者は、交通展示館屋上に誘導救助し避難することとしているが、屋上誘導後の迅速な避難が大きな課題であるため、展示館屋上から速やかに地上に降りられる非常用階段の設置を県に要望し設置頂いた。 ●この非常用階段を使った救出訓練を実施した		
災害時に備えた日常対応	朝礼やミーティングを通じて日常より情報の共有と意識の統一	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	実施予定	実施予定	●管理事務所と交通公園での朝礼、パソコンを活用した業務連絡表を用い、全員が情報を共有している。	●日常のスタッフ間の情報伝達を円滑に行い、災害時に備えた意識を統一を図っていく		
	管理事務所内へのAEDの常備	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	実施予定	実施予定	●管理事務所及び交通展示館に各1台づつ配備(子供用の電撃パッドも常備) ●プール開催期間中は管理事務所用をプールスタッフルームに配置 ●公園まつりなどイベント開催時はイベント会場に設置	●引き続き、2箇所に配置するとともに、定期的な点検や操作方法のスタッフ講習を行っていく		
	防災訓練、救急講習の年1回以上の実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	実施予定	実施予定	●12月に実施された辻堂地区総合防災訓練に参加 ●スカイサイクル搭乗者の救出、避難誘導訓練を実施 ●緊急時の迅速な対応を行うため、協会本部主催する茅ヶ崎消防署職員を講師とした上級救急救命講習会に未受講者を受講させた。(常勤、専門員全員が上級救急救命講習の修了証所有者となった)	●大地震発生時のスカイサイクル搭乗者の迅速な救出が課題の1つであるため、今後、救出訓練を定期的に実施し救出時間の短縮化を図っていく。 ●緊急時の迅速な対応が全員であることを目標に、引き続き新規採用職員には講習会に参加させ取得させる。		
	防災設備の定期稼働点検	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	実施予定	実施予定	●毎週1回、防災井戸ポンプの作動点検を実施	●引き続き、災害に備え、日常業務の中で定期的に作動点検を実施する		



区分	提案項目	事業計画書の内容 提案の具体化方策 (事業計画に記載されている内容を簡潔にまとめて記入)	実施計画					平成23年度の実施状況	今後の取り組み予定	備考
			H21	H22	H23	H24	H25			
9	公園の安全管理									補足資料
公園	園内施設全般の安全管理	日常巡視パトロールを毎日実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	実施予定	実施予定	●毎日、朝礼前にスタッフ全員でゴミ拾いを兼ねた園内巡視を実施し、悪戯や危険物の発見除去に努めている。	●本公園は塩害等による施設の傷みの進行が早いため、施設の日常点検や定期及び法定点検を実施し、履歴蓄積を図る。 ●引き続き、巡視や点検等が必要な措置が生じた場合は、県土木と協議し役割分担のもと、公園施設の機能維持に努めていく。	
		施設点検パトロールを月1回実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	実施予定	実施予定	●毎日の園内パトロール及び臨時の緊急点検を実施したほか、年1回、本部職員と事務所職員合同で園内全体の総点検パトロールを実施		
		重点箇所点検を随時実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	実施予定	実施予定	●強風、豪雨、台風など異常気象の前後は、排水施設など指定した重点箇所を中心に点検清掃を実施 ●年末年始前及び開園前は臨時点検を実施し、不具合箇所、危険箇所の発見と措置を講じ、期間中の事故防止を図った		
		遊具安全点検をスタッフにより週1回実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	実施予定	実施予定	●毎日、巡視により遊具の目視点検と砂場、プラコ座面下の窪地の不陸を整地、また遊具周辺の危険物を除去している ●遊具ごとのチェックリストに基づき、毎月末に管理主任が点検を実施。点検結果と修理結果は履歴管理している。		
		遊具定期点検を専門業者により年1回実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	実施予定	実施予定	●遊具メーカー業者による遊具の定期点検を年1回委託し実施 ●他公園で事故があった場合は、同様の遊具の臨時点検を実施		
		各施設法定点検を施設毎に実施（直営または業者）	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	実施予定	実施予定	●県の管理基準書に基づく施設点検を直営又は専門業者により実施		
		維持管理マニュアルを整理	一部実施	一部実施	一部実施	実施予定	実施予定	●作業スタッフの管理手引きとなる現場用管理マニュアルを整備するにあたり、現在の管理対象量の把握を行った。		
		点検と運動した速やかな施設修繕の実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	実施予定	実施予定	●日常巡視や施設点検の結果、不具合箇所を発見又は発生した場合は、速やかに修繕を実施。 ●経費が嵩む修繕については、県土木事務所と相談し対応した。		
		修繕結果の履歴蓄積	一部実施	計画通り実施	計画通り実施	実施予定	実施予定	●委託発注した修繕業務の履歴を作成。		
		施設賠償責任保険への加入	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	実施予定	実施予定	●協会本部において一括し施設賠償責任保険に加入済		
利用者及び作業スタッフの安全確保	作業スタッフの労働安全衛生等の関係法令遵守 QJTIによる安全意識の向上	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	実施予定	実施予定	●スタッフミーティングを通じ安全管理に関わる勉強会を実施するなどOJTを実施	●今後とも、機械を使用した維持管理作業の際は、看板、コーン等を設置し作業を実施するとともに、週末祭日の機械作業は控え利用者の安全確保を図る。 ●危険度の高い作業は委託化するとともに、管理作業スタッフに対しては、朝礼時での注意喚起や勉強会を行い、通してスタッフの安全を確保する。		
	作業スタッフの安全管理として、高所作業等は委託化	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	実施予定	実施予定	●高木剪定など高所作業の業務は専門業者に委託			
	委託業者への安全管理指導、監督の徹底	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	実施予定	実施予定	●協会発注の委託業者、県土木発注の施工業者、自販機飲料メーカー等と問わず、園内通行する車両は事務所に立ち寄り、園内許可証を1台ごとに発行、注意事項を遵守させ、利用者の安全を確保している。			
	施設の正しい利用方法の情報提供	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	実施予定	実施予定	●毎年、有料施設の団体登録の更新の際、改めて周知している。また、利用申し込み方法、注意事項を明記した案内を記入場所に張り掲示している。 ●週末や祭日は、屋外での機械作業は思わぬ事故を招く恐れがあるため、緊急時以外は行わないこととしている			
ボランティア活動における安全確保	多客時は機械を使用した草刈り作業は抑制	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	実施予定	実施予定		●協会が策定したボランティア活動要綱に基づき、今後、公園でのボランティア活動を支援していく		
	ボランティア活動の行動内容の把握及び連絡体制の明確化	未実施	計画通り実施	計画通り実施	実施予定	実施予定	●海浜花の会など園内で活動しているボランティア団体との作業調整を行うとともに、活動内容は毎月報告を受け把握している。 ●花の庭を中心に花壇管理を行っている「海浜花の会」の活動に対し、藤沢土木事務所長から感謝状が授けられた。 ●ボランティア希望で求所された方については連絡リストをつくり、イベント時で声をかけ協力頂いている			
	ボランティアを対象とした安全確保の研修	計画通り実施	—	—	—	—	平成21年度に本部主催の研修会（ボランティアとの関わり）を実施済			
防犯対策	ボランティア活動における安全確保として ボランティア保険加入の推進	未実施	未実施	未実施	実施予定	実施予定	未実施	●防犯の点で課題となる場所が生じた場合は速やかに対策を講じる。 ●夜間については、必要に応じて不定期な巡回を行うとともに、警察とも連携し防犯に努める。 ●プールの置き引き対策、深夜のバイク進入防止対策が防犯上の大きな課題であり、抜本的対策としてハード面の改修が必要なため、県で策定中の「リフレッシュ計画」において改修を要望中。		
	死角となる場所を極力つくらないようにする 観覧面に配慮し対策を行う	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	実施予定	実施予定	●台風15号により、老朽化した竹柵が被害を受けたが、復旧にあたり、防犯面やゴミ投棄など課題のある箇所については、竹柵の更新せず撤去するとともに、周辺樹木も一部整理し景観向上と防犯向上を図った ●駐車場への防犯カメラ設置後は車上荒らしが激減し、抑止力の効果が見られている。 ●プールでの置き引きが毎年発生。警察の協力を得るも効果が無く、安心安全なプール運営のためにはフルサイズに防犯カメラを設置することがベターであり、設置を県に要望中。			
	広場、建物周囲等を常に清潔に保ち、青少年のたまり場をつくらないようにする	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	実施予定	実施予定	●しようなんの森展望台は青少年の深夜のたまり場となり、ゴミや飲酒場所となっているため、県と協議し、門扉を設置し、夜間閉鎖とした結果、効果が現れている。 ●バイクが園内に進入できる出入り口形態であるため、深夜、バイクが進入し、防犯上の課題となっているため、リフレッシュ計画での出入口改修を県に要望中			
	地域の防犯会議への出席、警察署、消防署等との連絡を密にし 地域と連携した防犯体制	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	実施予定	実施予定	●本公園は藤沢警察署地域防犯連絡所となっており、園長と副園長が藤沢警察署から地域防犯連絡員に委嘱されている。毎年、藤沢警察署主催の連絡協議会に出席。			
防犯対策	《夜間・年末年始の体制》 ○勤務時間外の防犯対策は警備員により実施 公園管理事務所を警備員の詰め所とする ○交通展示館は機械警備による警備体制とする ○園内巡回警備は、警備員2名により巡回ルートに基づき定期または不定期に実施 ○機械警備の交通展示館は巡回中に異常の有無を確認 ○緊急時の連絡体制の徹底 ○年末年始は警備員2名による昼夜定期的巡回を実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	実施予定	実施予定	●夜間は、毎日、警備員2名を配置。管理事務所を夜間の警備員詰所とし、巡回ルートに基づき定期又は不定期に実施。 ●交通展示館は機械警備による警備体制とし、警備員の巡回中に異常の有無を確認している。 ●年末年始期間は、警備員2名による体制とし、昼夜、定期的に園内パトロールを実施 ●異常があった場合は緊急連絡網により職員に連絡する態勢を敷いている			

事業計画書の内容		実施計画					平成23年度の実施状況	今後の取り組み予定	備 考	
区分	提案項目	提案の具体化方策 (事業計画に記載されている内容を簡潔にまとめて記入)			H21	H22				H23
10 利用者への対応										
	接客対応及びその研修等	公園及び周辺情報の取得	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	実施予定	実施予定	●公園以外の問い合わせに対応できるよう、周辺の市立公園や南浦下水道処理場スポーツ施設など地域の公園情報、地域行事、学校行事情報の収集に努めている		●今後とも職員研修や自己点検評価、外部評価員によるチェック等を通じて、スキルアップを図っていく。
		特別指導員による接客研修と接客対応評価と指導	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	実施予定	実施予定	●協会本部が委嘱している接客担当の特別指導員による接客研修を実施。(新採用及び園長、副園長対象) ●研修受講者少人数で行って各公園を訪問し、利用者の立場で事務所の接客状況をチェックし、本部に報告し指導している。		
	苦情処理の対応及びその研修等	苦情・要望の記録と土木事務所への報告	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	実施予定	実施予定	●苦情要望を受けた際は、土木事務所とも連絡を密にし回答を行っている。 ●事務所受けた要望苦情は、年度毎、月毎に履歴管理するとともに、本部で集積し管理。		●今後とも苦情要望への適切な対応と、履歴の蓄積、管理運営へのフィードバックを図る。
		公園協会全体で、各公園の事例を共有するシステムの構築	未実施	未実施	計画通り実施	実施予定	実施予定	●苦情要望のデータベース化を図り、本部で各公園の履歴を一元管理。各公園の履歴は本部から各公園に情報提供し、各公園の管理運営に反映。 ●藤沢土木管内の協会管理公園(境川遊水地、茅ヶ崎里山、辻堂海浜公園)の各公園の抱える課題、管理運営の工夫等について意見交換等を実施		
	利用者への利用指導等	パンフやウェブサイトによる親切丁寧な有料施設等の受付案内	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	実施予定	実施予定	●プール、交通展示館等の有料施設の利用案内をウェブサイトにて情報提供。 ●イベント中止や異常気象時のプール臨時休業の場合は、ウェブサイトや駐車場入口で案内		
		季節の情報等の広報PR	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	実施予定	実施予定	●公園協会発行の「かながわパークナビ」を上期、下期の2回発行し、各公園の花やイベント等の情報を提供 ●JCOM地域のTVやレディオ湘南の番組に出演し、園内の花の生育状況など話題に盛り交ぜ公園のPRに努めた。 ●本部に集積している苦情要望履歴を各公園に提供し情報の共有化に努めている。その中で利用指導に係る課題の類似例について他公園と情報交換し、管理運営に反映している		●今後とも取り組みを継続する
	利用者ニーズの把握と反映	関係法令等の内部研修や他公園との情報交換、勉強会等による事例と情報共有化	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	実施予定	実施予定	●常設アンケートを設置するとともに、公園ウェブサイトでの問合せメール受付や日々の美術館とのコミュニケーションや利用満足度調査等によりニーズを把握 ●今年度はプール最終日に、来場者対面によるご意見聞き取り調査を行った。		●今後ともアンケート等でニーズを把握し必要な事項については改善を図っていく。 ●24年度は交通公園等での売店希望ニーズに応えるため、飲食サービス方法を検討し実施する予定
		日々のコミュニケーションや電話、ご意見箱、メールアンケート等による意見の把握と反映改善	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	実施予定	実施予定	●PDCAサイクルに考え方に沿って、本部委嘱の外部評価員が毎月の事務所自己評価をヒアリングし評価。事務所は外部評価結果を受け必要な事項の改善を図り、管理運営の向上を図っている。		
	外部評価による評価と改善	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	実施予定	実施予定				
11 利用促進方策										
	既存イベントの継続実施	季節ごとに開催する公園まつりや年間通しての様々なイベントを継続・充実して実施	計画通り実施	計画通り実施	一部実施 大震災や節電対策のため一部自粛	実施予定	実施予定	●四季ごとの大型イベントは東日本大震災後の計画停電、節電対策を考慮しながら実施した。 ・春の公園まつり「東日本大震災のため自粛中止」 ・夏の公園まつり「辻の盆」：1日のみ且つ、日没終了の節電で開催(約15,000人) ・秋の公園まつり「2日間開催(21,000人)」 ・イルミネーション&ライトアップ：節電対策の為中止 ●今年度のイベントや体験プログラムの参加者数は、大震災による自粛中止や節電対策のため、昨年度実績の約半分(6万人)の参加者となった。 ●開園40周年イベントとして、「公園の今昔写真展」やポイズンクローライブを開催 ●季節の風物詩の演出として、花工房と交通公園においてクリスマスと正月の飾り付けを実施		●深刻な電力不足が長期化する中から、平成24年度のイベントについてはその状況を見て開催の判断していく。
	ジャンププールにおける新たな取組み	《プレオープンイベント》 ジャンププールオープンの広報を兼ねたプレイベントの開催	計画通り実施	計画通り実施	未実施 節電対策のため中止	実施予定	実施予定	●地域住民へのサービスとプールの広報及び救助訓練デモを兼ねたプレオープンイベントを毎年開催しているが、今年度は夏季の節電対策のため自粛中止とした。		
		《ユニバーサルカヌーイベント》 子ども、高齢者、障がいのある者等、誰もが参加できるユニバーサルカヌー体験会	一部実施	計画通り実施	一部実施	取り止め	取り止め	●毎年、サザン池を活用し春季と秋季毎週日曜日に開催しているユニバーサルカヌー体験会のほか、開園期のプールを使った体験会は昨年度は開催したが、寒さ、水深等の課題があり、今年度は見送り、藤沢市カヌー協会と協働したカヌー教室を開催した。		●プールでの秋季体験会は水質、水温の問題があり、今後はサザン池で開催することとする。プールではレベルアップした希望者を対象としたカヌー教室を開催する方向で検討
	ジャンププールにおける新たな取組み	《プール利用料金の見直し》	計画通り実施	計画通り実施	一部実施	必要に応じて実施予定	必要に応じて実施予定	●販売新聞購読者を対象とした招待券を導入し、利用者拡大を図った ●21年度及び22年度に料金改訂を実施したため、今年度は改訂せず		●料金改訂後の利用ニーズを把握し、必要があれば改訂
		プールの利用促進(22年度新規) プールのアクティビティの充実と情報発信	一部実施	計画通り実施	計画通り実施	実施予定	実施予定	●昨年に引き続き、ウォーターバルーン、ドクターフィッシュ体験会を毎日開催するとともに、更に地域のフラダンスグループの発表の場の提供とハワイアンフードをテーマとした模擬店で構成するアロハイベントをプール利用の少なくなる時期に開催しプール利用者数を図った。 ●開園40周年記念事業としてプールオープン日と最終日の2回、ポイズンクローライブを開催 ●今季、子供達の水の事故を防止するため「水の安全教室」を新たに開催		●プールの認知度向上と利用者満足度を高めるため、プール期間中のイベントや体験プログラムを企画実施するが、24年度の電力不足対策の実施状況を踏まえ、判断する。
	芝生広場を活用した新たな取組み	《風作りと風揚げ大会》 正月の風物詩である風揚げを「湘南風の会」の協力を得て実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	実施予定	実施予定	●「湘南風の会」の協力を得て、1月9日に風づくり教室を開催。親子で風を作り、完成した風を芝生広場において風揚げを実施 ●風の会会員は定期的に芝生広場で風上げを行うが、来園者にも風上げに参加させ体験させている ●また、同会は、地域の小学校(1年生)の風作りと風上げ授業の際、要領のわからない子ども達に揚げ方を指導した。		●引き続き、風の会の協力を得て実施する。
		芝生広場に舞台を設置し、地域団体やグループが自由に発表できる場の提供	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	実施予定	実施予定	●公園まつりや持込イベントのメイン会場は舞台中心に置き、音楽、踊りなど地域団体の発表も兼ねた多様な催しを実施し、舞台をフルに活用している。 ●通常時は地域の方々を対象とした「公園体操(毎週火曜)」の場として、また、テーブル、ベンチを設置し休憩施設として有効活用中。		●今後とも、舞台を使った地域団体やグループの発表の場の提供を行う。

補足資料

様式11参照

区分	提案項目	事業計画書の内容 提案の具体化方策 (事業計画に記載されている内容を簡潔にまとめて記入)	実施計画					平成23年度の実施状況	今後の取り組み予定	備 考
			H21	H22	H23	H24	H25			
公園を活用した 新たな取り組み	《湘南ツーリングの開催》 公園を基地として、湘南モデルの自転車による 海岸沿いの自転車道を活用するツーリングの開催		未実施	調整中	計画 中止 市主 導の 事業 協力 に切 替え	—	—	●地元藤沢市が推進している官学民協働による「自転車による短 距離移動型交通システム」の試乗実験に本公園も実験ステーション の1つとして協力していたが、秋に実験が一応終了した。	●応募時の提案がこの市主導事業と重複することから、この事業へ の協力が切替え、実現に向け協力していく。	
	公園を活用した地域の活動団体の持込企画やイベント等 の支援（22年度新規）			計画通り 実施	計画通り 実施	実施予定	実施予定	●持込みイベントの支援 ・「海空フェスティバル」 6月、11月の2回開催 ・「フジ・フタバ」2ホケドーム入、12月開催 ●東北支援を目的とした「東北物産展」は主催者の事情により企 画途中で中止 ●公園前の海岸で花火を打上げる「みんなで作る花火大会」 (学生が中心の実行委員会)は、公園からの観覧が可能であった ため、来園者の安全対策を実行委員会に指導し事故防止に努めた	●地域団体等による持込みイベント企画については、企画内容を 検討し協力できるものは積極的に支援していく	
	海浜情報発信のためのライブカメラの設置（23年度新規）				調整中	実施予定	実施予定	●サーファーや海の利用者へのサービスとして湘南の森に設置す る予定の技術的課題を調整中	●引き続き課題調整を行い、24年度設置を目指す	
交通公園を活用した 新たな取り組み	《初心者自転車教室》 子どもを対象とした初心者自転車教室及び高齢者を 対象とした安全教室の開催		計画通り 実施	未実施 大震災の ため自粛	計画通り 実施	実施予定	実施予定	●昨年度は東日本大震災直後に予定していたため中止したが、今 年度は藤沢警察、神奈川県警教育隊の協力を得てファミリー自転 車教室を開催した	●今回は受講希望者が多いことから、今後も警察と連携した交通安 全教室を開催していく	
	《交通展示館子ども塾》 大学や交通知識を有する専門家の協力を得て、展示物及び ソフトを活用した学習塾の開催		計画通り 実施	未実施 大震災の ため自粛	計画通り 実施	実施予定	実施予定	●昨年度は東日本大震災直後であったため中止したが、今年度は 大学や高校、おもちゃ作りの地域団体、藤沢警察等の協力を得 て、交通や乗物をテーマにした体験会（プロペラ自動車をつくら う）、（がりがりヘリコプターづくり）、鉄道模型&運転体験、交 通安全教室）を体験型で開催 ●併せて今回は新たに小田急電車前の広場で使って「ワックワッ クステージ」と称して地元団体（フラ、パト）ステージを開催	●今後も、交通展示館及び交通公園を活用し、交通に関わるテーマ の各種教室を外団体、専門家の協力を得て企画実施していく	
利用促進のための 広報活動	・公園HP、公園協会HPとの連携で発信 ・園内掲示板・インフォメーションボックス等の活用 ・パンフレット・チラシでのイベント情報や各種教室等のお知らせ ・駐車場の空車情報をHPとの連動で携帯サイトで発信 ・公園ニュースを1～2回/月発行し、イベント実績や花情報を提供		計画通り 実施	計画通り 実施	計画通り 実施	実施予定	実施予定	●公園HPと本部HPと連携して公園紹介や各イベント情報を発 信、また、駐車場の空車情報を携帯サイトで発信している ●園内ではインフォメーションボックスや仮設看板を設置し、ポ スターやチラシを掲示し来園者にイベント情報や各種教室等を周 知 ●イベント等の結果や花情報は、公園ニュースを1～2回/月作 成（別紙資料参照）し、園内掲示 ・プール開業に合わせ、HPの改修を行い、プールの利用案内を見 やすく分かりやすい内容に改訂した。		公園ニュース 参照
利用促進のための 広報活動	《公共施設、各種団体の活用》 ○公民館・体育館等の公共施設、最寄駅に依頼しポスターを掲示 ○辻堂及び明治地区の市民センターの協力により、自治会・町内会を 通じ公園まつり等のチラシを回覧し、地域に告知する		計画通り 実施	計画通り 実施	計画通り 実施	実施予定	実施予定	●大型イベントのうち自粛中止したイベント以外については、地 元辻堂地区を始め、藤沢市民センターの協力により、自治会・町 内会を通じて公園まつりのチラシを回覧し告知。また、藤沢市広 報への記載、公民館・体育館等の公共施設にイベントポスターを 展示 ●今年度は茅ヶ崎市への広報にも力を入れ、図書館や幼稚園など にもポスターの掲示を依頼した。 ●原辻堂駅の協力を得て水仙ガーデンのポスターと水仙の切り花 を展示	●公園の知名度アップやイベント広報については、公園ウェブはも とより、地域の公共施設、駅等の協力を得るとともに、各種メ ディアを活用し、今後も積極的な情報発信を行う。	
	《メディアの活用》 ○新聞、地域情報誌 レジャー情報誌、地元ケーブルTVや FMラジオ等の活用		計画通り 実施	計画通り 実施	計画通り 実施	実施予定	実施予定	●公園まつり等のイベント周知にあたっては、新聞、地域情報誌等 にイベント情報を提供している ●開園40周年という節目を迎え、JCOM湘南のTV番組で公園特集の 30分番組として取り上げてもらい出演し公園内。また、レディ オ湘南の番組に出演し、公園イベントの情報提供を行った ●神奈川新聞に水仙ガーデンの紹介記事を書かせてもらい、認知度 向上を図った		H23年度 広報実績表 参照
12 自主事業の運営										
駐車場管理運営	年間有料として運営。営業時間及び夏季以外の料金の 上限もH20年度と同じに設定		計画通り 実施	計画通り 実施	計画通り 実施	実施予定	実施予定	●昨年と同じ料金体系・利用時間で、年間無休で運営 ●東及び西駐車場料金徴収所の精算機が古くなったため、更新 ●利用券サービスとして、23年7月1日から駐車場利用回数券（1 セット7枚綴り）の販売を開始。初年度にははれ行きは順調 で、駐車場利用者だけでなく地域の店舗も購入しサービスに活用 されている。		
売店運営	軽飲食の提供を行う。 スマイルカフェ波波波、西駐車場売店		計画通り 実施	計画通り 実施	計画通り 実施	実施予定	実施予定	●年間を通じて園内2箇所で軽飲食及び飲み物を販売中。 ●プール期間中は、プールサイドの臨時売店を増設し、販売品目 を充実させプール利用者への飲食サービス向上に努めた。	●今後も今年度事業内容を基本的に継続する。 ●駐車場料金所や飲食施設設備で老朽化した施設、看板類は順次更 新を行う	
自動販売機の設置	清涼飲料等の提供 (アール管理棟、交通公園等園内)		計画通り 実施	計画通り 実施	計画通り 実施	実施予定	実施予定	●公園最盛期間の春から秋は、常設自販機に加え、自販機の不足 している東駐車場と西駐車場際の2か所に臨時自販機を設置し サービス向上に努めた。 ●引き続き、ペットボトルのキャップを回収し、世界の子どもた ちへのワクワク提供活動に協力中	●若い世代の親子連れも増えるなど利用者層の変化も見受けられ ること、また、利用満足度調査結果を踏まえ、飲食サービスの場所や メニュー等を再検討しサービス向上を行う。	
ロッカー・シャワー	・管理棟ロッカーは通年有料で運営。 ・プールロッカー・シャワーは開業期間のみ運営		計画通り 実施	計画通り 実施	計画通り 実施	実施予定	実施予定	●プール期間中、更衣ロッカーと温水シャワーは有料で運営 ●サーファーや来園者の利便に供するため、通年を通じて管理事 務所ロビーにコインロッカーを設置（有料） ●サーファーなど海の利用者を対象とした温水シャワー施設（屋 外）は8月から年末年始を除く通年営業で運営開始した。		

補足資料

平成23年度 指定管理者管理運営実施状況表

公園名：辻堂海浜公園

第10号様式

区分	提案項目	事業計画書の内容 提案の具体化方策 (事業計画に記載されている内容を簡潔にまとめて記入)	実施計画					平成23年度の実施状況	今後の取り組み予定	備 考	
			H21	H22	H23	H24	H25				
13 地域や関係機関との連携											
13	県民及び住民参加、ボランティア団体による協働の取組み	《スポーツ・健康・福祉での協働》 藤沢市社会福祉協議会、湘南FARC、湘南工科大学付属高校、(財)体力づくり指導協会、藤沢市加協会等との協働	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	実施予定	実施予定	●引き続き、湘南工科大学等と協働してユニバーサルカヌー体験会を春季秋季に開催。 ●秋季は、プール閉場後は、藤沢市カヌー協会と連携し流水プールでカヌー体験会を実施。 ●体力づくり協会の協力を得て、地域の高齢者を対象とした「うんどう教室」を毎月開催 ●地元工科大学付属高校陸上部とジョギングクラブの「湘南FARC」の運営協力を得て子供駅伝大会を開催	●イベントや各種体験プログラムの企画実施あたっては、今後とも市民参加型となるよう留意するとともに、維持管理についてはボランティア団体等の協力を得て取り組む。		補足資料
		《海浜環境の保全と花づくりでの協働》 湘南みちくさクラブ、海浜花の会等	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	実施予定	実施予定	●「海浜花の会」による花の庭の花壇管理を実施。活動が評価され、平成24年2月に県藤沢土木事務所長から感謝状が授与された ●「湘南みちくさクラブ」の海浜植物の保護育成活動に協力			
		《公園まつりなどイベントでの協働》 藤沢商工会議所、湘南工科大学、辻堂地区自治会長・町内会長連絡協議会、民謡同好会、湘南風の会、地元中学校、J A さがみ、江ノ電ファンクラブ、藤沢市民館、レディオ湘南等	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	実施予定	実施予定	●イベントは、地域連携に配慮した企画立案に努め、湘南工科大学及び付属高校を始め地域の中学校、幼稚園などの教育機関や地域活動団体等の協力を得て実施している。今年度の公園まつりでは、新たに協働した団体も増加した。			
	地域への貢献	地域の活性化・コミュニティの形成 (公園運営協議会の設置等も含む)	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	実施予定	実施予定	●公園運営協議会は今年度2回開催し、事業計画や実績報告のほか公園管理に関する課題等の意見交換も行った。また、県土きが決定中の「公園リフレッシュ計画案」に対して、意見を述べた。 ●地域と連携した各種イベントを通して、地域活性化(地元商店会等の模擬店参加)やコミュニケーションの形成に貢献 ●「海空フェスティバル」、「ランファンオーブ」など地元団体や活動グループの持ち込みイベントを実現し開催。イベント開催を機に知り合った参加者同士が親しくなり、コミュニティ形成にも繋がっている	●地域貢献は公園の使命であり、今後もイベント等の開催を通じて、公園が地域活性化・コミュニティの形成に貢献できるよう努めていく		
		身障者の自立支援と活動のサポート	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	実施予定	実施予定	●地域作業所(本曜クラブ)の障害者の自立支援を兼ね、ゴミ清掃を委託 ●ユニバーサルカヌー体験会に参加した「サザンクラブ(障害者家族がメンバー)」にテント、テーブル、椅子、飲料水を提供。公園をフィールドとした家族同士のコミュニケーションづくりを支援している ●公園まつりにおいて、地域の福祉団体にバザー出店してもらい、社会参加活動を支援している	●これからも障害者の方々が公園を利用し活動できる機会づくりに努める。		
		生きがいの機会や場の提供	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	実施予定	実施予定	●神奈川県シルバー人材センターの開催する「緑の管理講習会」の実習場所として公園を提供。樹木剪定、花壇づくり等の植物管理実習を実施。 ●藤沢ウォーキング協会の「歩け歩けシーサードコース」のチェックポイントの場所を提供 ●交通公園で日曜日実施している「楽しいウラフト」は、近隣の高齢者にボランティアスタッフになって頂いており、子どもたちと触れ合う機会にもなっている。	●今後も高齢者の健康や緊急雇用対策に協力していくため、教育機関、シルバー人材センターに訓練、実習の場を提供し、地域連携を図っていく。		
学校教育への協力	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	実施予定	実施予定	●引き続き、県の緊急人材育成事業や学校教育に協力するため、日本ガーデンデザイン専門学校(藤沢市内)の実技講習場を提供。公園管理にとっても管理水準の向上に繋がっている ●地元高浜中学2年生の職場体験カリキュラム実習場所の1つとして、今年度は公園で2名受け入れ管理運営を体験 ●地元小学校1年生の製作授業で風の凧揚げ方を知らない子どもたちの為に、湘南風の会が現地で開催	●今後も学校等の教育機関に協力し、授業や課外活動の場の提供を通して地域貢献していく。				
子どもの学びの場や運動の場の提供	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	実施予定	実施予定	●地域のご老人を対象に、すこやか広場の健康道具を使用した「うんどう教室」をインストラクターの指導の下、毎月1回開催している。 ●今年度から藤沢市辻堂地区地域包括支援センター事業の「こころえん体験(毎週水曜日、自由参加)」事業に協力し、資機材を提供	●地域のご老人の健康管理に寄与するため、今後も継続する				
関係機関との連携	《教育機関等との連携》 幼稚園、小中学校、大学等	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	実施予定	実施予定	●引き続き、下記の教育機関と連携 ・湘南工科大学と協働したユニバーサルカヌー体験会、辻の益での整備等の協力 ・日本造園専門学校と協働した植物管理 ・湘南工科大学付属高等学校ダンス部と連携(辻の益での踊りのリポート役) ・秋の公園まつりで、かながわ農業アカデミーの学校紹介と生産物の販売促進に協力。 ・関東学院大学六浦中学校の鉄道研究部の協力により交通公園子ども祭の実施	●今後も、公園の管理運営に協力いただいている公的機関、教育機関等との信頼関係を大切に連携を図っていく			
	《福祉団体、協議会との連携》 福祉関係機関等	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	実施予定	実施予定	●公園まつりにおいて地域の福祉団体に模擬店を出店。 ●藤沢市社会福祉協議会と連携し、年寄り疑似体験コーナーをイベント時に設け、市民に体験頂いた。 ●公園運営協議会に藤沢市辻堂市民センターもメンバーに加わってもらっている				
	《自治体との連携》 県、市、市民センター等との連携	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	実施予定	実施予定	●イベント広場に当たっては、市民センターの協力を得て各町内会にチラシ回覧により市民に周知。 ●辻堂地区総合防災訓練に参加 ●藤沢警察署及び神奈川県警交通教育隊協力を得てファミリー交通安全教室を開催				
	《商工会議所・観光協会との連携》 地域活性化に繋がるイベント等について連携協働	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	実施予定	実施予定	●「辻の益」実行委員会に商工会議所も加わってもらい、機材の相互貸出などハードソフト面で連携 ●秋の公園まつりにおいて、藤沢市観光名産品協議会のブースを設け、地元の名産品を求場者に紹介 ●藤沢市青年会議所も今年から公園まつりに参加				
	《周辺公園との連携》	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	実施予定	実施予定	●協会管理の県立都市公園において、維持管理やイベント時の機材及び公園のまつり後輩の相互活用を図っている。 ●首都圏の都泉市の公園協会や公園管理財団で構成する協議会において、スタンブライナーなどの合同企画を立案し実施				
	《公的団体との広域的連携》 首都圏公園緑地9団体連絡協議会等	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	実施予定	実施予定	●また、同協議会で「公園の小さな旅」を発行し、協議会メンバー管理の公園の利用促進を図っている。 ●かながわ海浜文化財団の海岸清掃、砂防林維持管理ボランティア活動に協力し公園事務所を更衣休憩場所提供。				

平成23年度 指定管理者管理運営実施状況表

公園名：辻堂海浜公園

第10号様式

事業計画書の内容			実施計画					平成23年度の実施状況	今後の取り組み予定	備 考	
区分	提案項目	提案の具体化方案 (事業計画に記載されている内容を簡潔にまとめて記入)	H21	H22	H23	H24	H25			備	考
14	平成23年度事業計画以外の取り組み実績										補足資料
	地域連携	クマゼミの生息調査の協力	/	実施	実施	実施予定	実施予定	<ul style="list-style-type: none"> <li>●22年8月に公園でクマゼミの抜け殻が大量に見え、生息が明らかとなったことから、藤沢市クマゼミ調査研究会がその生息状況や地温測定等を詳細に調査中であり、維持管理面に配慮するなど調査に協力している</li> <li>●子どもたちが自然への興味を抱くよう、クマゼミの調査協力団体より寄贈されたクマゼミをはじめとしたセミの抜け殻の標本を交通展示館に展示した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●今後も、クマゼミの生息調査に協力し、樹木剪定や草刈り時期などを団体と調整の上、実施する</li> </ul>		

※本表と併せて、各項目の実施状況のわかる具体的な資料（写真・作業一覧・新聞切り抜きなど）を添付して提出して下さい。